

# 全国・県学習状況調査における生徒の結果分析（1年）

## 今年度の分析

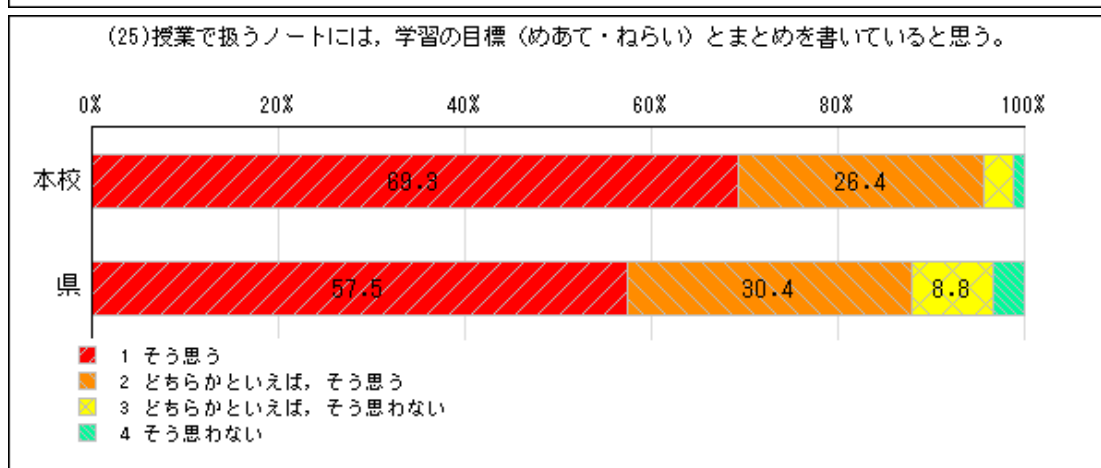
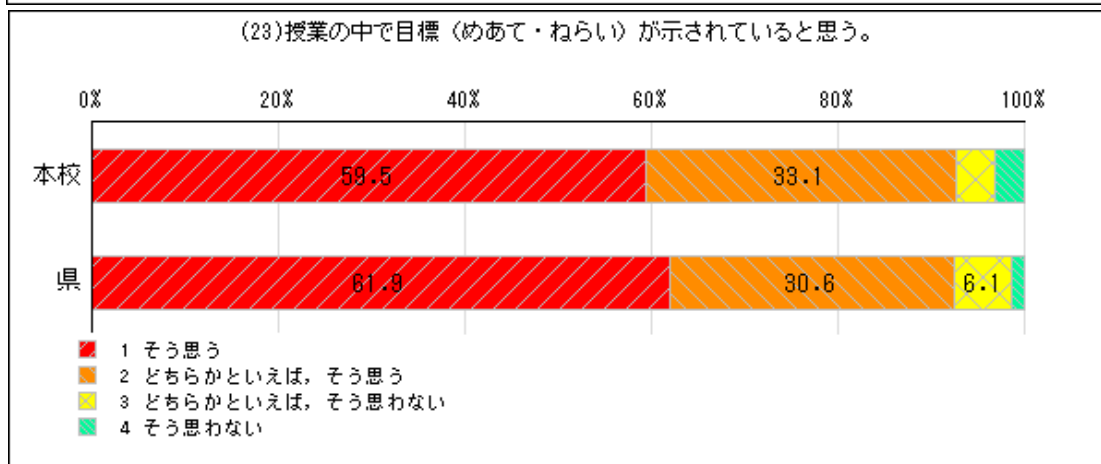
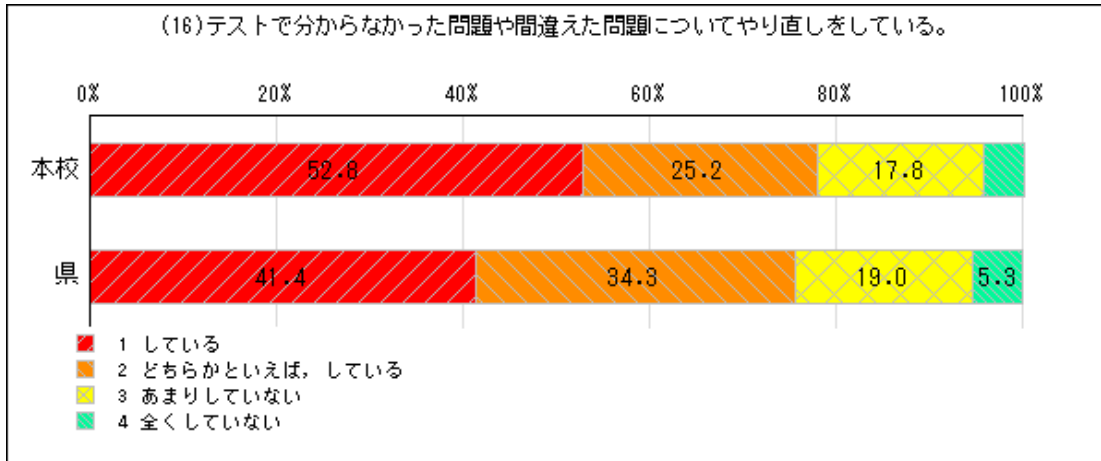
全体の概要		
国語	全体の正答率は県平均とほぼ同じである。観点別では「話す・聞く」、「読む」、「知識・理解・技能」は県平均とほぼ同じであり、「書く」は県平均をやや下回っている。	
分析結果・課題把握	改善に向けた具体的取り組み事項	
話す・聞く	県平均を5項目中4項目は上回っている。1項目はわずかに下回っている。	インタビュー内容の要点を把握できていないので、メモを取る学習を仕組む。
書く	県平均をやや下回っている。	文章とあわせて図やグラフの内容を理解し、条件を満たして記述する学習を仕組む。
読む	県平均とほぼ同程度である。	説明的文章の事実と筆者の考えを読み分ける学習を仕組む。
知識・理解・技能	県平均とほぼ同程度である。無解答率が県の割合より高いものがある。	毎日の漢字の課題や授業での漢字の小テストを継続して行い、語彙の習得を図っていく。

## 今年度の分析

全体の概要		
数学	全体の正答率は県平均とほぼ同じである。到達度分布をみると「要努力」の割合が低く、「おおむね達成」の割合が高くなっている。 内容・領域別に比較したときは、「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」の全てで県平均とほぼ同じである。	
分析結果・課題把握	改善に向けた具体的取り組み事項	
知識・理解	県平均とほぼ同じ。県平均と同じか上回る問題が多い中で、どんな数で割ると元の数より大きくなるかを判断する問題は大きく下回っている。	授業中、数学的な表現を使って説明する場面を多くすることで、内容理解や定着を図る。
技能	県平均とほぼ同じ。鈍角三角形の面積を求める問題、体積の単位換算の問題では県平均を下回っている。	本校で取り組んでいるすきるアップテストを実施することで、つますきを解消していきたい。また、小テストなどを行うことで定着を図っていきたい。
考え方	県平均をやや上回っている。県平均を上回っている問題が多くあるなかで、式の意味を理解する問題は大きく下回っている。	丁寧に問題の条件を読み取り、既習の学習内容をどのように活用していくかを考えさせる学習を積み重ねていく。

# 全国・県学習状況調査における生徒意識調査の結果分析（1年）

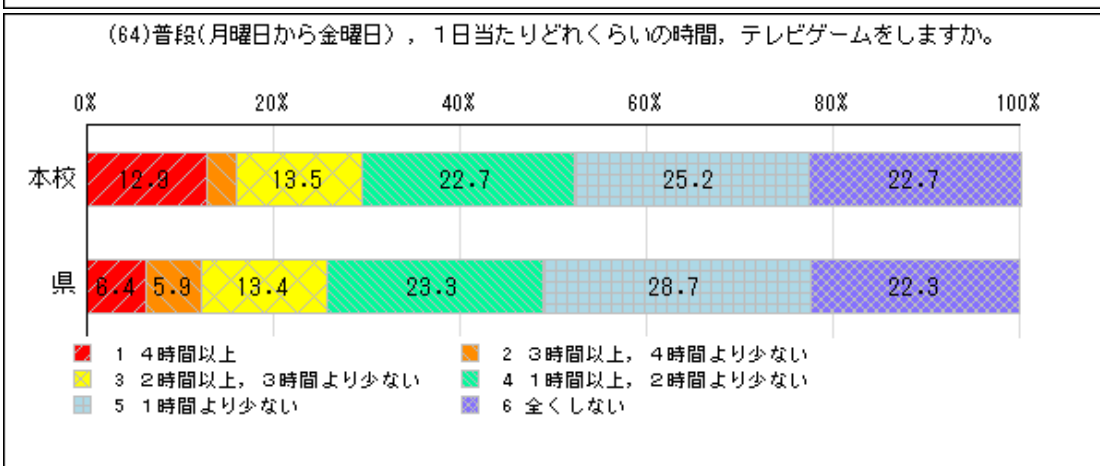
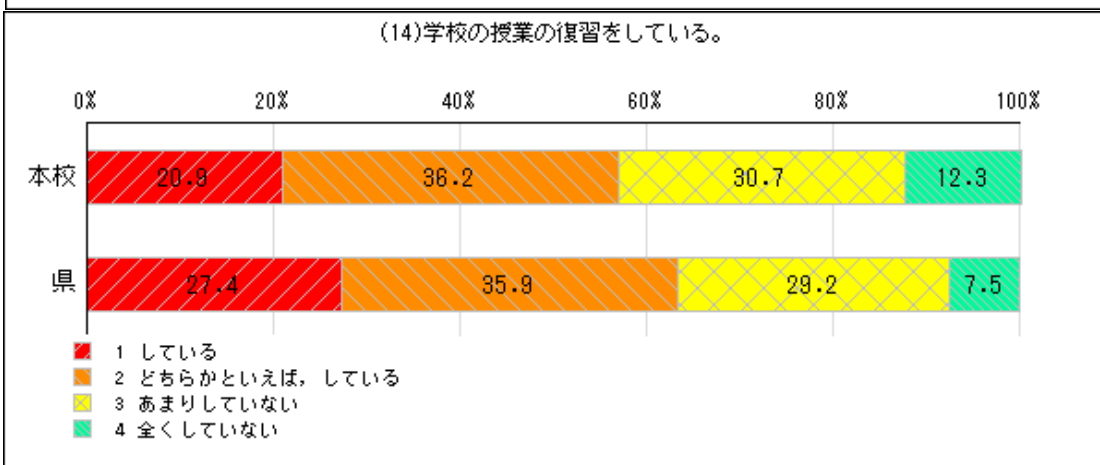
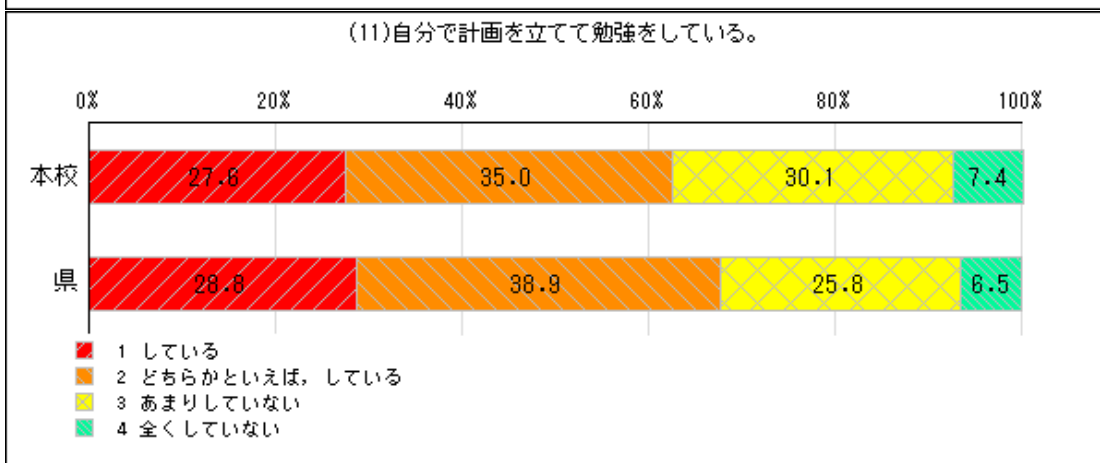
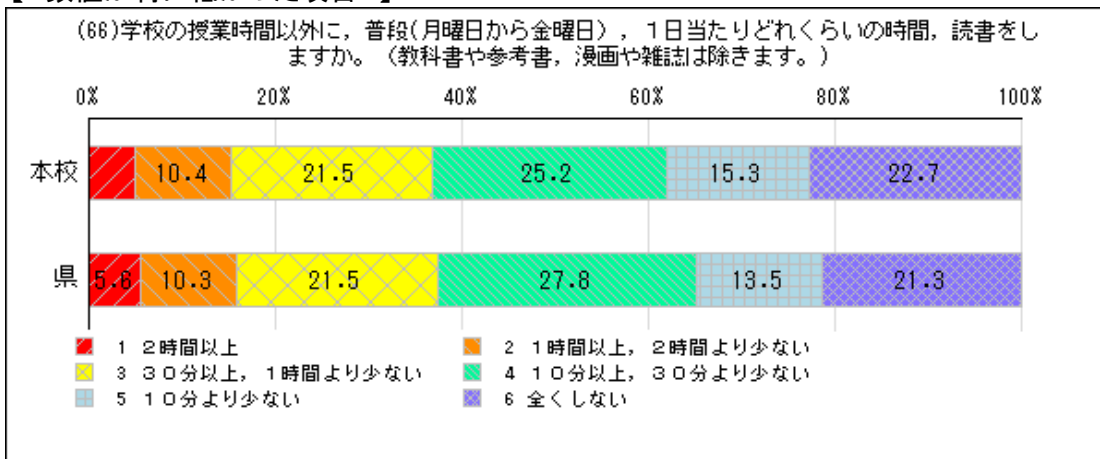
## 【 数値が特に高かった項目 】



### 分析と改善に向けた具体的取り組み事項

授業で教科の目標が示されており、生徒はそれを意識して取り組むことができている。  
また、テスト実施後のやり直しはおおむねできているようだ。今後も継続して指導していく。

【 数値が特に低かった項目 】



分析と改善に向けた具体的取り組み事項

全体的に読書の時間が少ない。本になじむきっかけとなり本に親しんでいけるよう、朝読書時間を確保するなど、朝読書の徹底をはかる。

4月の段階では計画的な学習の数値が低い。テスト前のガイダンスや、テスト勉強計画表の記入と、教師による確認を行うことにより、少しずつでも計画的に取り組めるように指導している。

将来の夢がまだ決まっていない生徒が多い。目標がないために、学習に取り組む姿勢にも差があるようだ。今後キャリア教育を通して、自分の夢や理想の自分を考えるきっかけ作りをし、目標の設定、夢の決定に近づけたい。そしてその目標達成に向け努力させる。